

carrozzeria



はじめに

基本

テレビ

ビデオ

映像と音の調整

付録

取扱説明書

Pioneer

8.0型ワイド液晶TVバック
TV-W08

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意

(別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

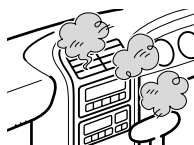
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

本書の見かた

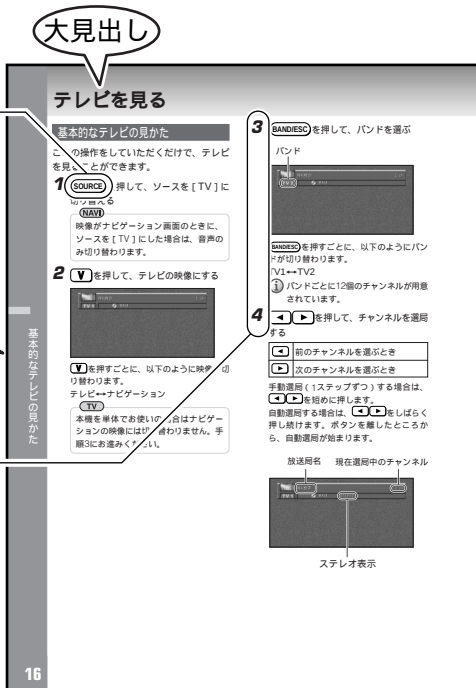
本書をお読みになる前に知っておいていただきたいことや、見たい項目の探しかたなどについて説明します。

リモコンや本体上のボタン

リモコンや本体などについているボタンを表します。

すぐに使いたい場合は、この帯の付いている部分をお読みください。

操作手順の順番を示す番号



ページ内の構成

本書は、操作方法などがわからなくなった場合に、その知りたい情報を探しやすいように構成されています。

情報の探しかた

大見出しで探す

大見出しは主要機能で構成されています。目次を見て探してください。

中見出しで探す

中見出しは主要機能を実行するための各方法で構成されています。

中見出しは探しやすいように、ページをめくる側の全ページに入っています。



画面上のメニューやボタン

画面上に表示されるメニューやボタンを表します。

インフォメーションマーク

操作上、注意すべきことや操作上のヒント、便利な使いかたなどについて説明します。

参照マーク

参照していただきたい本文タイトルとページ、および他の説明書を導きます。

endマーク

操作手順の終わりを表します。

続きマーク

右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

注意マーク

安全のために、必ず守っていただきたいことです。

操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明します。

 本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。

実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

目次

はじめに	安全のために必ずお守りください	2
	安全上のご注意	3
	本書の見かた	4
	はじめに	8
	ご使用前に知っておいていただきたいこと	8
	システムによる操作の違いについて	9
	各部の名前とおもな働き	10
基本	リモコンの電池の入れかた	13
	電源を入れる・切る	13
	基本操作 (NAVI の場合)	14
	ソースを切り替える	14
	メニューを表示する	14
	ソースの映像を見る	14
	基本操作 (TV の場合)	15
テレビ	ソースを切り替える	15
	メニューを表示する	15
	テレビを見る	16
	基本的なテレビの見かた	16
	記憶されたチャンネルの呼び出しかた	17
	プリセットの種類を選ぶ (NAVI)	17
	プリセットチャンネルを順に呼び出す	18
	プリセットチャンネルのリストから呼び出す (NAVI)	18
	便利な機能	18
	[TV] (FUNCTION) メニューを開く	19
	受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる (BSSM)	19
	音声多重放送の副音声を聞く	19
	手動でチャンネルを記憶させる (マニュアルプリセット)	20

ビデオを見る	21
ビデオを見られるようにする	21
ビデオを見られるように設定する	21
ビデオを見る	21

映像を調整する	22
画質の調整をする	22
画面を切り替える	24
音の調整をする	28
音量を調整する	28
音声案内がよく聞こえるようにする (NAVI)	28
内蔵スピーカーの音声をON/OFFする	29
音声をFM付きカーステレオで聞く	29

その他の機能と付録	31
リアモニターを組み合わせる	31
TVモニターの正しい使いかた	31
本機のリセットのしかた	32
故障かな？と思ったら	33
保証書とアフターサービス	35
仕様	36
索引	37
メニュー索引	37

はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいこと

安全走行のために

本機では、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はTVモニターの各種設定、調整はできません。(走行中は、以下のようなメッセージが表示されます。)安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、メッセージが消えてから、操作してください。
(例) テレビを見ようとしたとき



❶ 本機を単独でご使用のときは [ATTENTION] という表示が出ます。

画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて黒の濃さを調整してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調整してください。

➡ 「黒の濃さやコントラストを調整する」(22P)、「液晶画面の明るさを調整する」(23P)を参照してください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、かならず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

携帯電話をお使いになる際のご注意

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをTVモニターに近づけないでください。画面にはん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

TVモニターの液晶画面を保護するために

本機を使用していないときは、TVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。

➡ 「TVモニターの正しい使いかた」(31P)を参照してください。

システムによる操作の違いについて

組み合わせた製品によって一部の操作が異なります

本機をHDDナビゲーションサーバーと組み合わせて使う場合と単体で使う場合とでは、操作の方法が一部異なります。本書では、文頭に以下のマークを配置して、それぞれの操作を併記しています。

NAVI

本機を下記のHDDナビゲーションサーバーと組み合わせて使う場合は、このマークのついた説明文をお読みください。

- AVIC-H09
- AVIC-H07

TV

本機を単体で使う場合は、このマークのついた説明文をお読みください。

本書では、HDDナビゲーションサーバー「AVIC-H09」を組み合わせた場合を例にして、説明を行っています。上記のHDDナビゲーションサーバーを組み合わせていない場合の一部の操作は、**TV**を読んで行ってください。

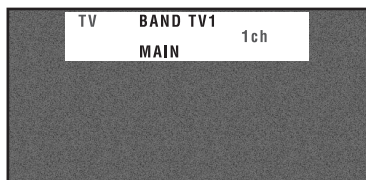
HDDナビゲーションサーバーを組み合わせたお客さまへ **NAVI**

本機のいくつかの機能は、ナビゲーションに付属のリモコンでも操作することができます。AVIC-H09、AVIC-H07のリモコンで本機を操作する場合は、必ずリモコン設定スイッチの位置をご確認ください。設定を間違えると正しく動作しません。

➡ ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。

本機を単体で使うお客さまへ **TV**

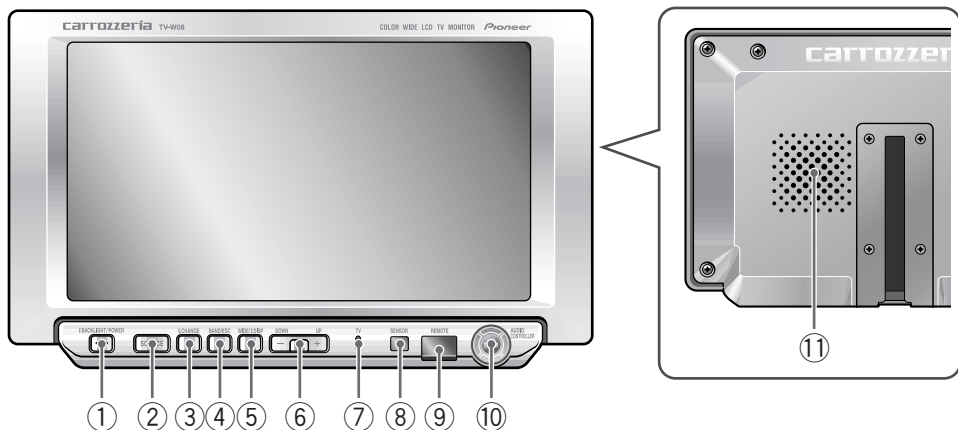
本書では、HDDナビゲーションサーバーと組み合わせた場合の画面を使用して説明します。本機を単体でご使用の場合は、次のような画面表示となります。



➡ メニューについては「索引」(37P)を参照してください。

各部の名前とおもな働き

TVモニター



- ① BACK LIGHT/POWERボタン  (→13ページ)

TVモニターの電源のON/OFFを切り替えたり、映像のON/OFFを切り替えます。

- ② SOURCEボタン (→14ページ)

ソース（音源・映像）を切り替えたり、ソースをOFFにします。

- ③ V.CHANGEボタン (→14ページ)

NAVI

ナビゲーション画面とソース画面を切り替えたり、2画面表示の場合は、左右画面を入れ替えます。

TV

使用しません。

- ④ BAND/ESCAPEボタン (→12ページ)

バンドを切り替えたり、[オーディオメニュー]画面やTVモニターの[画質調整]メニューが表示されているときに押すと、メニューを解除します。

- ⑤ WIDE/DISPLAYボタン (→25ページ)

TVモニターのワイドモードを切り替えたり、[画質調整]メニューを表示します。また、オーディオメニュー操作時に前のメニューに戻るときにも使います。

- ⑥ VOLUMEボタン (→28ページ)

内蔵スピーカーの音量を調整します。

	音量を大きくするとき
	音量を小さくするとき

- ⑦ TVランプ

本機の電源が入っているときに点灯します。

- ⑧ 外光センサー (→22ページ)

周囲の明るさを感知します。

- ⑨ リモコン受光部

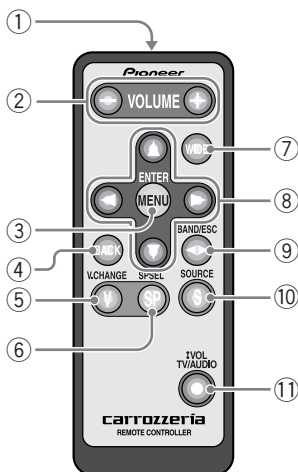
リモコンからの信号を受信します。

- ⑩ AUDIOコントローラー/ENTERボタン (→12ページ)

オーディオメニューの操作や選曲、選局などに使用します。

- ⑪ 内蔵スピーカー

リモコン



- ① リモコン送信部
ここからリモコンの信号が送られます。
- ② VOLUMEボタン (→28ページ)
音量を調整します。
- | | |
|---|------------|
| ⊕ | 音量を大きくするとき |
| ⊖ | 音量を小さくするとき |
- ③ ENTER/MENUボタン (→12ページ)
メニューを開きます。
メニューが表示されているときは、メニュー選択の決定に使用します。
- ④ BACKボタン (→12ページ)
メニュー操作時に、前のメニュー画面に戻るときに使います。
- ⑤ V.CHANGEボタン (→14ページ)

NAVI

ナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。2画面表示の場合は、左右画面を入れ替えます。

TV

使用しません。

- ⑥ SP.SELボタン (→29ページ)
内部スピーカーから出力されるソース音声のON/OFFを切り替えます。
- ⑦ WIDEボタン (→25ページ)
ワイドモードに切り替えたり、[画質調整]メニューを表示します。
- ⑧ ▲ボタン/▼ボタン/◀ボタン/▶ボタン (→12ページ)
TVチャンネルの選局や、項目の選択に使用します。
- ⑨ BAND/ESCAPEボタン (→12ページ)
オーディオバンドを切り替えたり、[オーディオメニュー]画面やTVモニターの[画質調整]メニューが表示されているときに押すと、メニューを解除します。
- ⑩ SOURCEボタン (→14ページ)
ソース(音源・映像)を切り替えたり、ソースをOFFにします。
- ⑪ 動作モード切り替えボタン 
パイオニア製のカーステレオを組み合わせる場合②VOLUMEボタンと⑨BAND/ESCAPEボタンでカーステレオの操作ができるように設定できます。2秒以上押し続けると、本機とカーステレオのモードが切り替わります。
カーステレオモードにしたときは、②VOLUMEボタンは、カーステレオの音量調整、⑨BAND/ESCAPEボタンは、カーステレオのBANDボタンとして働きます。(本機の操作はできません。)
カーステレオモードでお使いのときに、リモコンの電池を交換した場合は、本機のモードになることがあります。そのときはもう一度切り替えてください。

共通操作ボタン対応表

本書では、ナビゲーション本体に付属するリモコンと、TV-W08モニターおよびTV-W08付属のリモコンに共通するボタンを、同じマークで表して操作説明しています。

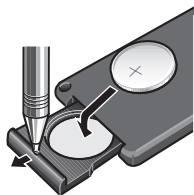
リモコン のボタン	モニター のボタン	ナビゲーション本体に 付属のリモコン (NAVI)	本書で使用する マーク
VOLUMEボタン	VOLUMEボタン	VOLUMEツマミ	
WIDEボタン ¹	WIDE/DISPLAYボタン	—	
V.CHANGEボタン	V.CHANGEボタン	V.CHANGEボタン	
SOURCEボタン	SOURCEボタン	SOURCEボタン	
▲ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを上に出す	▲ボタン	
▼ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを下に出す	▼ボタン	
◀ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを左に出す	◀ボタン	
▶ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを右に出す	▶ボタン	
ENTER/MENU ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを押す	AUDIO MENU ボタン	
BACKボタン	2	BACKボタン	
BAND/ESCAPEボタン	BAND/ESCAPEボタン	BAND/ESCAPEボタン	
SP.SELボタン	—	VOLUMEツマミ	

1 リモコンのWIDEボタンでは、[画面調整] メニューは表示されません。

2 WIDE/DISPLAYボタンで、1つ前のメニュー画面に戻ることができます。

リモコンの電池の入れかた

リモコンを裏返して電池ホルダーを取り出し、リチウム電池(CR2025)を、⊕側を上にしてセットします。



i リモコンからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

i 電池の取り扱いに関するご注意

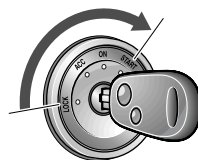
- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長時間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから、新しい電池と入れ替えてください。
- 不要となった電池を破棄する場合は、各自治体の指示(条例)にしたがって処理してください。

i リモコンの取り扱いに関するご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形、変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- TVモニターのリモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。

電源を入れる・切る

1 車のエンジンをかける



本機に電源が入り、ソース画面が表示されます。

NAVI

- ナビゲーション画面に切り替える場合は **V** を押してください。画面が切り替わります。
- 取り付け後の初めての起動ではナビゲーションの画面が出るまでに数秒かかったり、途中でOFFになりますが故障ではありません。

2 TVモニターの **⏻** をしばらく押し続ける

本機の電源が切れます。

NAVI

本機の電源が切れるとナビゲーションの音声案内は出力されません。

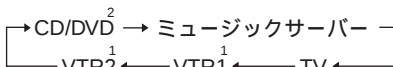
i もう一度 **⏻** を押すと、TVモニターの電源が入ります。 **end**

基本操作 (NAVIの場合)

ソースを切り替える

ソースを切り替えると、各ソースの状態が表示されます。この画面で、現在受信中のチャンネルなどを確認することができます。

- 1 **(SOURCE)**を押して、ソースを切り替える
(SOURCE)を押すごとに、以下のようにソースが切り替わります。



ナビゲーション画面のときは、**(SOURCE)**を押しても音声しか切り替わりません。選んだソースの映像を見たいときは、**(V)**を押してソース画面に切り替えてください。

- 1 [AV入力設定]でVTR1、VTR2をONにすると、VTR1、VTR2にも切り替わるようになります。→「ビデオを見られるように設定する」(21P)
- 2 CDやDVDが挿入されていない場合は、[ディスクを挿入してください。]と表示されます。end

ソースをOFFにする

- 1 **(SOURCE)**をしばらく押し続ける
ソースがOFFになります。
もう一度**(SOURCE)**を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。

- ソースをOFFにしても、ナビゲーションの音声案内は流れます。
- リモコンの**(SP)**を押して、ソースの音声のみON/OFFすることもできます。そのとき、表示が[TV+GUIDE]と[TV]で切り替わります。→「内蔵スピーカーの音声をON/OFFする」(29P)end

メニューを表示する

- 1 各ソース画面で**(A.MENU)**を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。
 - ミュージックサーバーメニュー
 - TVメニュー
 - CD/DVDメニュー
 - VTR1、VTR2メニュー→「ビデオを見られるように設定する」(21P)

- 2 **(▲)****(▼)**を押してメニュー項目を選び
(A.MENU)を押す
選んだ項目を実行します。
(例)[TV]メニュー



- **(i)** **メニューを閉じる**、**戻る**を選ぶ、または**(BACK)**を押すと、前の画面に戻ります。
- オーディオメニューを解除するには**(BAND/ESC)**を押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも自動的に解除されます。)end

ソースの映像を見る

映像をソース画面(テレビ、ビデオ、DVD、CD、ミュージックサーバー)とナビゲーション画面で切り替えることができます。

- 1 **(V)**を押して映像を切り替える
(V)を押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

ソース画面 ↔ ナビゲーション画面

- **(i)** ソース画面は、**(SOURCE)**で選ばれているソースの映像です。end

基本操作 (TV の場合)

ソースを切り替える

ソースを切り替えると、各ソースの状態が表示されます。この画面で、現在受信中のチャンネルなどを確認することができます。

- 1 **[SOURCE]**を押して、ソースを切り替える
[SOURCE]を押すごとに、以下のようにソースが切り替わります。

→ TV → VTR1¹ → VTR2¹ →

1 [INPUT SETTING]でVTR1、VTR2をONにすると、VTR1、VTR2にも切り替わるようになります。→「ビデオを見られるように設定する」(21P)
end

ソースをOFFにする

- 1 **[SOURCE]**をしばらく押し続ける
ソースがOFFになります。
もう一度**[SOURCE]**を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。

- i** リモコンの**[SP]**を押して、音声のみON/OFFすることもできます。そのとき表示が「ソース名」と[OFF]で切り替わります。
→「内蔵スピーカーの音声をON/OFFする」(29P) **end**

メニューを表示する

- 1 各ソース画面で**[A.MENU]**を押す
[MENU]が表示されます。
 - TVのメニュー
 - VTR1、VTR2のメニュー
→「ビデオを見られるように設定する」(21P)

- 2 **[▲]****[▼]**を押してメニュー項目を選び
[A.MENU]を押す

選んだ項目を実行します。

(例) TVのメニュー



- i** • **[RETURN]**または**[BACK]**を押すと、前の画面に戻ります。
• メニューを解除するには**[BAND/ESC]**を押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも自動的に解除されます。) **end**

ソースを切り替える / メニューを表示する

テレビを見る

基本的なテレビの見かた

この操作をしていただくだけで、テレビを見ることができます。

- 1** **[SOURCE]**を押して、ソースを[TV]に切り替える

NAVI

映像がナビゲーション画面のときに、ソースを[TV]にした場合は、音声のみ切り替わります。

- 2** **[V]**を押して、テレビの映像にする



[V]を押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

テレビ↔ナビゲーション

TV

本機を単体でお使いの場合はナビゲーションの映像には切り替わりません。手順3にお進みください。

- 3** **[BAND/ESC]**を押して、バンドを選ぶ

バンド



[BAND/ESC]を押すごとに、以下のようにバンドが切り替わります。

TV1↔TV2

i バンドごとに12個のチャンネルが用意されています。

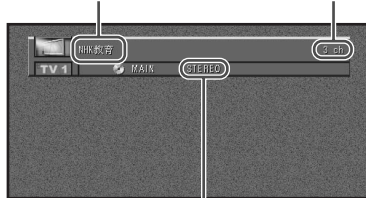
- 4** **[◀▶]**を押して、チャンネルを選局する

[◀]	前のチャンネルを選ぶとき
[▶]	次のチャンネルを選ぶとき

手動選局（1ステップずつ）する場合は、**[◀▶]**を短めに押します。

自動選局する場合は、**[◀▶]**をしばらく押し続けます。ボタンを離れたところから、自動選局が始まります。

放送局名 現在選局中のチャンネル



ステレオ表示

- ① 受信できるチャンネルは、1ch ~ 62chです。
- ステレオ放送を受信した場合は、[STEREO] が表示され、音声多重放送を受信した場合は、[BILINGUAL] が表示されます。
- 電波の弱い地域では、テレビの映像が乱れる場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所では、テレビの映りが悪くなる場合があります。
- 走行中にテレビの映像を見ることができませんが、チャンネルを選局することはできます。(音声を聞くこともできます。)

➡ バンドごとに12局までのチャンネルを記憶させることができます。
→ 「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(19P)、 「手動でチャンネルを記憶させる」(20P)
end

記憶されたチャンネルの呼び出しかた

あらかじめ記憶されているチャンネルから、放送局を呼び出すことができます(プリセットチューニング)。

プリセットチューニングには、TVプリセットから呼び出す方法とエリアプリセットから呼び出す方法の2種類があります。

TVプリセットチャンネル

「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(19P)および「手動でチャンネルを記憶させる」(20P)で記憶させたチャンネルです。

- ① TVプリセットチャンネルは、チャンネルをTV1とTV2の2つのバンドに分けて記憶させておくことができます。

便利な使い方：

ふだんお使いになっている地域のチャンネルはTV1に記憶させておきます。旅行などで受信チャンネルの異なる地域に移動したときに、TV2に切り替えてからチャンネルを記憶させます。ふだんお使いになるチャンネルの記憶はTV1に残ったままです。

NAVI

エリアプリセットチャンネルナビゲーションがあらかじめ記憶している、エリア別のチャンネルです。現在地に応じたりリストが自動的に選ばれます。遠くへ出かけるときなどに使うと便利です。

プリセットの種類を選ぶ(NAVI)

TVプリセットとエリアプリセットのどちらを使うか選びます。

- 1 (A.MENU) - TV - (A.MENU) を押す → 19P
- 2 チャンネルリスト を選んで (A.MENU) を押す
- 3 ◀ ▶ を押して、好みのプリセット種類を選んで (BAND/ESC) を押す

プリセット種類



end

基本的なテレビの見かた／記憶されたチャンネルの呼び出しかた

プリセットチャンネルを順に呼び出す

「プリセットの種類を選ぶ」(17P)で選んだプリセットから、1局ずつ順に呼び出します。

TV

本機を単体でお使いの場合は、TVプリセットのみから呼び出せます。

1 (BAND/ESC)を押して、バンドを選ぶ

NAVI

エリアプリセットからプリセットチャンネルを呼び出すときは、手順1は不要です。手順2から操作してください。

2 (▲) (▼)を押して、チャンネルを呼び出す



プリセットチャンネル

(▲)	次のプリセットチャンネルを呼び出すとき
(▼)	前のプリセットチャンネルを呼び出すとき

end

プリセットチャンネルのリストから呼び出す (NAVI)

TVプリセットチャンネルまたはエリアプリセットチャンネルのリストを表示して、そこからチャンネルを呼び出します。

- ① エリアプリセットはナビゲーションと組み合わせるときに使用できます。

1 (A.MENU) - TV - (A.MENU)を押す → 19P

2 チャンネルリストを選んで(A.MENU)を押す



3 (◀) (▶)を押して、好みのプリセット種類を選ぶ

プリセット種類



- ① ここで選んだプリセット種類が、次回からのプリセットになります。

4 (▲) (▼)を押して、見たいチャンネルを選んで(A.MENU)を押す

- ①
- エリアプリセット中にバンドを切り替えた場合は、TVプリセットに切り替わります。
 - リスト表示されても、現在地の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。

5 (BAND/ESC)を押して、[オーディオメニュー]を解除する end

便利な機能

テレビを見る場合の詳細設定(BSSM、音声多重設定、マニュアルプリセット)は、[TV](FUNCTION)メニューで行います。

TV

本機を単体でお使いの場合は、[FUNCTION]メニューから行います。

[TV](FUNCTION)メニューを開く

1 テレビの画面、または音声のときに
(A.MENU)を押す

2 **TV**(FUNCTION)を選んで**(A.MENU)**を押す

本機を単体でお使いの場合は、[FUNCTION]を選びます。

[TV](FUNCTION)メニューが表示されます。



end

受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる

バンドごとにチャンネルを12局まで、チャンネル番号の小さい順に記憶させることができます(BSSM)。

(i) BSSMとは、Best Stations Sequential Memory(ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

1 **(BAND/ESC)**を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ

2 **(A.MENU)**—**TV**(FUNCTION)—**(A.MENU)**を押す → 「[TV](FUNCTION)メニューを開く」

3 **BSSM**を選んで**(A.MENU)**を押す



4 **(▲)**を押して、BSSMを開始する
BSSM中は点滅します。



(▼)を押すと、BSSMを中断します。

(i) 受信状態の良いチャンネルが12局より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。

5 **(BAND/ESC)**を押して、[オーディオメニュー]を解除する

(→) 記憶させたチャンネルの呼び出し方は、「プリセットチャンネルを順に呼び出す(18P)」
「プリセットチャンネルのリストから呼び出す(18P)」を参照してください。end

音声多重放送の副音声を聞く

音声多重放送(2カ国語放送)を受信しているときは、主音声(日本語)と副音声(外国語)を切り替えることができます。

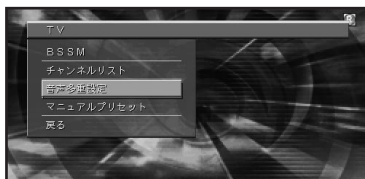
(i) 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

1 **(A.MENU)**—**TV**(FUNCTION)—**(A.MENU)**を押す → 「[TV](FUNCTION)メニューを開く」

2 **音声多重設定(MPX)**を選んで**(A.MENU)**を押す

TV

本機を単体でお使いの場合は、[MPX]を選びます。

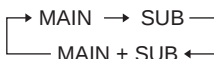


便利な機能

- 3**   を押して、聞きたい音声を選ぶ



  を押すごとに、以下のように切り替わります。



MAIN	主音声(日本語)
SUB	副音声(外国語)
MAIN+SUB	主・副音声(日本語+外国語)

- 4** **[BAND/ESC]** を押して、[オーディオメニュー]を解除する **end**

手動でチャンネルを記憶させる

バンドごとにチャンネルを12局まで、手動で記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

- 1** **[A.MENU]** - **TV** (FUNCTION) - **[A.MENU]** を押す → 19P

- 2** **マニュアルプリセット** (MANUAL PRESET) を選んで **[A.MENU]** を押す

TV

本機を単体でお使いの場合は、[MANUAL PRESET]を選んでください。



- 3**   を押して、記憶させたいプリセットNO.を選ぶ



- 4**   を押して、チャンネルを選局する

	前のチャンネルを選ぶとき
	次のチャンネルを選ぶとき

i   をしばらく押し続けると、受信できる周波数を自動的にさがします。

- 5** **[A.MENU]** を押して、受信チャンネルを記憶する



i 続けて手動でチャンネルを設定する場合は、手順3から繰り返してください。

- 6** **[BAND/ESC]** を押して、[オーディオメニュー]を解除する

➡ 記憶させたチャンネルの呼び出し方は、「プリセットチャンネルを順に呼び出す」(18P)、「プリセットチャンネルのリストから呼び出す」(18P)を参照してください。 **end**

ビデオを見る

ビデオを見られるようにする

VTR1、VTR2に接続したポータブルビデオなどを見ることができます。

ビデオを見られるように設定する

接続したポータブルビデオなどを見られるように設定します。

i 初期設定では、[VTR1]、[VTR2]ともにOFFに設定されています。

1 各ソース画面で(A.MENU)を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。

2 システム設定 (SET UP) を選んで(A.MENU)を押す

TV

本機を単体でお使いの場合は、[SET UP]を選んでください。



3 AV入力設定 (INPUT SETTING) を選んで(A.MENU)を押す

TV

本機を単体でお使いの場合は、[INPUT SETTING]を選んでください。

4 (▲) (▼) を押して、設定する項目にカーソルを合わせる



5 (▶) を押して、VTRをONにする



(◀)を押すとOFFになります。

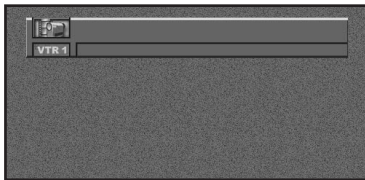
ON	ビデオの映像や音声に切り替わる
OFF	ビデオの映像や音声に切り替わらない

6 (BAND/ESC) を押して、[オーディオメニュー]を解除する end

ビデオを見る

ビデオソースに切り替えて、ビデオ映像を見ます。

1 (SOURCE) を押して、ソースを[VTR1]または[VTR2]に切り替える



i [AV入力設定] (INPUT SETTING) で VTR1、VTR2をONにしないと、VTR1、VTR2に切り替わりません。

NAVI

- 映像がナビゲーション画面のときに、ソースを[VTR1]または[VTR2]にした場合は、音声のみ切り替わります。
- 映像をビデオにする場合は、(V)を押して切り替えます。

end

映像を調整する

画質の調整をする

黒の濃さやコントラストを調整する

映像の黒の濃さ、明暗（コントラスト）を変更することができます。

- 外光センサーで周囲の明るさを感じし、明るいとき（昼間）と、周囲が暗いとき（夜間）の調整内容を別々に設定することができます。
- 周囲の明るさの変化にともない、この設定が自動的に切り替わります。
- テレビ、ビデオ等の映像で別々に設定内容を記憶します。

NAVI

- DVDの映像やナビゲーションの映像でも設定内容を記憶します。

1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの**WIDE**をしばらく押し続ける
[画質調整]メニューが表示されます。

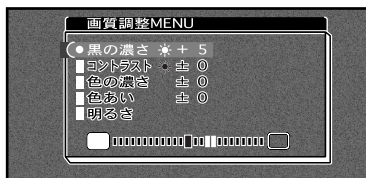
- 約30秒間何も操作しないと自動的に
[画質調整]メニューは解除されます。

2 黒の濃さまたは**コントラスト**を選ぶ



▲	上の項目を選ぶとき
▼	下の項目を選ぶとき

3 ◀ ▶ を押して、設定を調整する



TVモニター前面の外光センサーが、周囲の明るさを感じし、現在の明るさを示すマークが画面に表示されます。

☾（青）：暗いとき（夜間）

☀（黄）：明るいとき（昼間）

ボタン	黒の濃さ	コントラスト
◀	薄くなる	白黒の差が小さくなる (暗くなる)
▶	濃くなる	白黒の差が大きくなる (明るくなる)

- - 24 ~ + 24の範囲で設定が可能です。

4 **BAND/ESC** を押して、[画質調整]メニューを解除する **end**

色の濃さや色あいを調整する

お好みに合わせて、映像の色の濃さ、色あいを変更することができます。

- テレビ、ビデオ等の映像で別々に設定内容を記憶します。

NAVI

DVDの映像やナビゲーションの映像では、調整できません。

1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの**WIDE**をしばらく押し続ける
[画質調整]メニューが表示されます。

2 色の濃さ または 色あい を選ぶ



▲	上の項目を選ぶとき
▼	下の項目を選ぶとき

3 ◀ ▶ を押して、設定を調整する



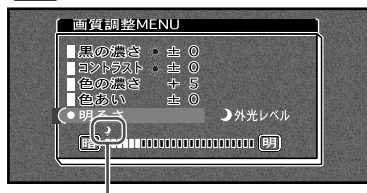
ボタン	色の濃さ	色あい
◀	薄くなる	赤が強くなる
▶	濃くなる	緑が強くなる

i -24 ~ +24の範囲で設定が可能です。

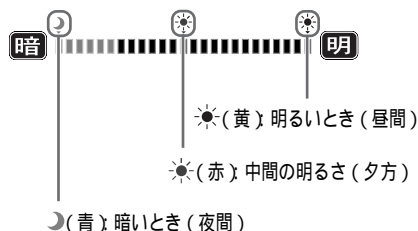
4 BAND/ESC を押して、[画質調整] メニューを解除する **end**

1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの **WIDE** をしばらく押し続ける [画質調整] メニューが表示されます。

2 ▼ を押して、**明るさ** を選ぶ



TVモニター前面の外光センサーが、周囲の明るさを感知して、現在の周囲の明るさ（外光レベル）をマークの色、形、および位置で表示します。



- i** 明るさを調整するときに基準となる外光レベルは、手順3で示すマークとその位置で表示されます。
- 黒の濃さやコントラストを調整するときのマークと異なる場合があります。

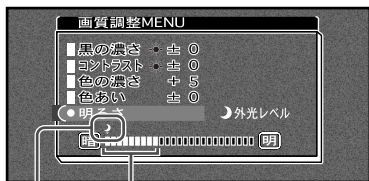
3 ◀ ▶ を押して、明るさを調整する

◀	画面を暗くするとき
▶	画面を明るくするとき

つづく >>

液晶画面の明るさを調整する

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまうことがあります。本機は、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調整します（3点式インテリジェントディマー）。その自動的に調整される明るさを好みに合わせて、設定しておくことができます。



レベルは調整している画面の明るさを表します。右に伸びるほど、明るくなります。

この画面では、暗いとき(●)の画面の明るさの設定を調整しています。

- 現在の外光レベルに設定されている画面の明るさが調整されます。
- 暗い、中間、明るい、それぞれの外光レベルで調整でき、別々に記憶されます。

4 BAND/ESC を押して、[画質調整] メニューを解除する

- **明るさ** の設定内容は、[画質調整] メニューが解除されるときに記憶されます。

明るさ を調整後、車のエンジンを切ったり電源をOFFしたりするときは、[画質調整] メニューを解除してから行ってください。end

画面を切り替える

2 画面表示させる (NAVI)

画面を2分割して、ソース画面(テレビ、ビデオ、DVD、CD、ミュージックサーバー)とナビゲーション画面を同時に表示させることができます(ピクチャーサイドピクチャー)。

1 いずれかの映像画面でナビゲーションリモコンの(DDM)を押す

(DDM)を押すごとに、以下のように画像表示が切り替わります。

1 画面



ピクチャーサイドピクチャー



- ソース画面どうしの2画面表示はできません。
 - 2画面とも同じ画面にすることはできません。
 - ナビゲーション画面から(DDM)を押すと、現在選ばれているソースとの2画面になります。
 - ピクチャーサイドピクチャーでは、ナビゲーションの操作をしやすくするため、一時的にナビゲーションの映像だけになる(1画面になる)ことがあります。
- ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。end

2画面表示の左右を入れ替える (NAVI)

画面を2分割している場合は、左右画面を入れ替えることができます。

1 2画面表示で(V)を押す

(V)を押すごとに、左右の画面が入れ替わります。



end

ワイド画面の拡大方法を切り替える

通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

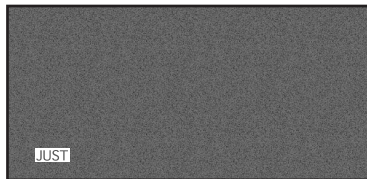
- ① 通常の映像は縦横比4:3、ワイド映像は縦横比16:9です。
- テレビ、ビデオ、DVD映像で設定内容が別々に記憶されます。
- ナビゲーション、CDまたはミュージックサーバーの映像は、ワイドモードの切り替えはできません。

1 テレビ、ビデオ、DVDのいずれかの映像画面を表示させる

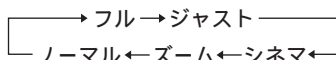
NAVI

2画面表示にしているときは、1画面で表示させてください。

2 **WIDE**を押して、ワイドモードを切り替える



WIDEを押すごとに、以下のようにワイドモードが切り替わります。



- ① 通常のテレビ放送の番組をズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

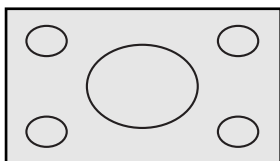
NAVI

- 1画面表示のときに設定したワイドモードの映像になります。
 - 2画面で表示しているときは、ワイドモードの切り替えはできません。
 - [オーディオメニュー]を表示しているときは、常にフルになります。
- (テレビ画面から **チャンネルリスト** や **マニュアルプリセット** メニューを選択しているときは背景はワイドモードのままです。)

end

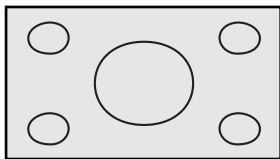
ワイドモードの種類

画面を切り替える



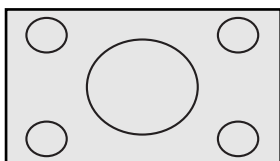
フル

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



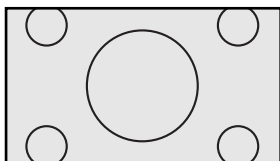
ジャスト

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



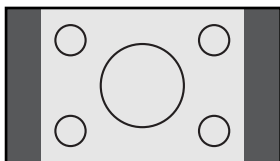
シネマ

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



ズーム

4:3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



ノーマル

4:3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

- 1 TVモニターの  を押す
もう一度  を押すと、画面を表示します。



end

音の調整をする

お好みに合わせてオーディオの音を調整することができます。

音量を調整する

お好みの音量に調整することができます。

- 1 各ソースで **(VOLUME)** を押して、音量を調整する



+	大きくするとき
-	小さくするとき

- 0～30の範囲で調整が可能です。
- ボリューム調整画面は、4秒間表示されます。 **end**

音声案内がよく聞こえるようにする **(NAVI)**

音声案内、ハンズフリー音声、音声操作の割り込みがあった場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声聞きとりやすくすることができます。

- 初期値は、**NORMAL** に設定されています。

- 1 各ソースで **(A.MENU)** を押す
[オーディオメニュー] が表示されます。

- 2 **システム設定** を選んで **(A.MENU)** を押す

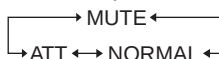


- 3 **消音レベル設定** を選んで **(A.MENU)** を押す

- 4 **(◀ ▶)** を押して、好みの設定を選ぶ



(◀ ▶) を押すごとに、以下のように切り替わります。



ATT	音声が約 $\frac{1}{10}$ 小さくなる
NORMAL	音声は変わらない
MUTE	音声がかえなくなる

- ナビゲーションのオーディオミュート設定をしたときに、ここで設定した消音レベルが適用されます。ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。

- [オーディオメニュー] の設定中に、音声案内の割り込みがあった場合は、オーディオの音量は、変わりません。
- [オーディオメニュー] の設定中に、ハンズフリー音声、音声操作の割り込みがあった場合は、[オーディオメニュー] を終了して、それぞれの操作になります。

- 5 **(BAND/ESC)** を押して、[オーディオメニュー] を解除する **end**

内蔵スピーカーの音声をON/OFFする

車内の会話が聞きとりにくい場合などに、一時的に音を消すことができます。

1 (SP)を押す

(SP)を押すごとに、ソース音声はON/OFFします。



- ① 出力されているソースの音声はOFFになります。
- ボリューム調整をしても音量は変わりません。

NAVI

(SP)を押してもナビゲーションの音声案内は消えません。

end

音声をFM付きカーステレオで聞く

テレビ、ビデオ、DVDなどの音声をFM電波で飛ばし、その電波をFM付きカーステレオで受信して、カーステレオのスピーカーで聞くことができます。

① 初期値は、OFFに設定されています。

NAVI

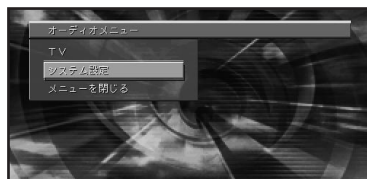
ナビゲーションの音声案内を開くことはできません。

1 (A.MENU)を押す

2 システム設定 (SET UP)を選ぶ (A.MENU)を押す

TV

本機を単体でお使いの場合は [SET UP] を選んでください。



3 FMトランスミッター設定 (FM TRANSMITTER) を選んで (A.MENU)を押す

TV

本機を単体でお使いの場合は [FM TRANSMITTER] を選んでください。

4 [FMトランスミッター] (FM TRANS) の項目で、(▶)を押してONにする



(◀)を押すとOFFになります。

つづく >>

内蔵スピーカーの音声をON/OFFする / 音声をFM付きカーステレオで聞く

5 を押して、[周波数](FREQUENCY)の項目にカーソルを合わせる

6 を押して、出力させたい周波数を選ぶ

	周波数を下げるとき
	周波数を上げるとき



周波数は、76.4～78.4MHzの中から、0.1MHzステップで選ぶことができます。

7 **(BAND/ESC)**を押して、[オーディオメニュー]を解除する

8 カーステレオのソースをFMに切り替えて、手順6で選んだ周波数を受信する本機の音声をカーステレオのスピーカーから聞けるようになります。

- 送信用アンテナの配置場所や、受信する側のラジオのアンテナによっては、ノイズが聞こえたり、受信感度が低くなる場合があります。
- FM放送と混信する場合は、他の周波数を選んでください。
- FMトランスミッターの実用到達距離は、約2mです。(法律により電波の強さが規制されています。)
- FMトランスミッターを使わないときは、必ず **OFF** にしてください。

end

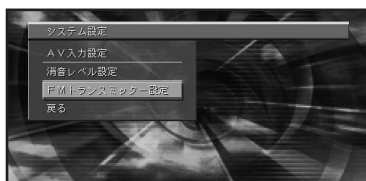
FMトランスミッターのレベルを調整する

カーステレオのスピーカーで本機の音声を聞いていると感じた場合は、FMトランスミッターのレベルを調整して、FM放送の音量と合わせてください。

1 **(A.MENU)**— **システム設定**(SET UP)—

(A.MENU)— **FMトランスミッター設定**

(FM TRANSMITTER)— **(A.MENU)**を押す
→29P



2 を押して、[レベル](LEVEL)を選ぶ

3 を押して、レベルを調整する

	レベルを下げるとき
	レベルを上げるとき



- 最大 -6 ~ +6の範囲で調整できます。
- FM放送の音が大きく聞こえるときは、レベルを上げてください。
- 本機の音が大きく聞こえたり、歪みを感じたときは、レベルを下げてください。

4 **(BAND/ESC)**を押して、[オーディオメニュー]を解除する end

その他の機能と付録

リアモニターを組み合わせる

RCAリアモニター出力端子に、後部座席用のモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

➡ 接続のしかたは、『取付説明書』を参照してください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、現在選択されているソースの映像が表示されます。[V]で映像を切り替えても、ナビゲーション画面は表示されません。
- リアモニターを2画面表示に切り替えることはできません。
- リアモニターには、映像だけが表示されます。映像、音声、チャンネルなどの情報や、設定メニューは表示されません。

NAVI

DVDビデオを選択している場合のみ、DVD画面専用の情報表示を見ることができます。

- リアモニターは、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく、映像が表示されます。このため、走行中でもテレビやビデオ、DVDなどの映像を見ることができます。

⚠ リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

- 映像を出力するために使われる信号形式には、RGBとコンポジット信号の2通りがあります。
- コンポジット信号は、一般のビデオデッキなどのRCA映像出力に使われる信号です。
- RGB信号は、パソコンの画面表示などに使われる信号です。本機では、ナビゲーションの映像をより鮮明に表示するために、通常RGB信号を使用しています。(コンポジット信号よりも鮮明に映像を表示できます。)

TVモニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- TVモニターは次の温度範囲内でお使いください。
使用温度範囲：-10度～+50度
保存温度範囲：-20度～+80度
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- TVモニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面には触らないでください。



液晶画面について

- TVモニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)ができることがあります。これは液晶TVモニター特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- TVモニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

リアモニターを組み合わせる／TVモニターの正しい使いかた

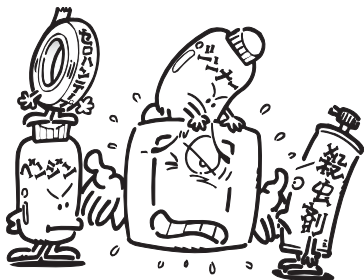
小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、TVモニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は、消耗品で寿命があります。

- 蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなることがあります。
- 蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

お手入れについて

- 画面に付いたほこりやTVモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。
- 画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- ぬれたぞうきんは、使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



本機のリセットのしかた

次のようなときは、本機のリセットボタンを押してマイコンをリセットしてください。

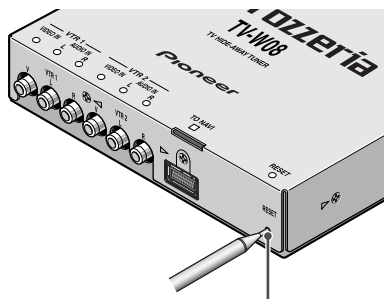
① リセットボタンは、チューナーにあります。
→ 『取付説明書』

- 接続が終わった後
- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

リセットボタンを押すと、本機は初期状態に戻ります。本機の記憶(記憶チャンネルなど)が消去されますので、もう一度セットし直してください。

リセットする

- 1 ボールペンの先などで、リセットボタンを押す



リセットボタン

end

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。→「本機のリセットのしかた」(32P)

それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」(35P)をお読みになり修理を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 理
電源が入らない。 動作しない。	各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 →『取付説明書』
	システムの切り替えスイッチの設定が適切でない。	組み合わせたシステムに合ったモードに切り替えて、リセットボタンを押してください。 →『取付説明書』
TVモニターにナビゲーションの映像が映らない。	TVモニターの映像が、ナビゲーションに切り替わっていない。	TVモニターの映像をナビゲーションに切り替えてください。 →「ソースの映像を見る」(14P)
内蔵スピーカーの音が出ない。	●内蔵スピーカーがOFFに設定されている。 ●リモコンの(SP)を押している。	内蔵スピーカーから出力されるように設定してください。 →「内蔵スピーカーの音声をON/OFFする」(29P)
カーステレオのスピーカーから音が出ない。	FMトランスミッターの設定がOFFになっている。	設定を切り替えてください。 →「音声をFM付きカーステレオで聞く」(29P)
	FM付きカーステレオの受信周波数が合っていない。	本機の送信周波数と、FM付きカーステレオの受信周波数を合わせてください。 →FM付きカーステレオの説明書

故障かな？と思ったら

共通項目（つづき）

症 状	原 因	処 理
映像が明るい。 映像が暗い。	黒の濃さ の調整が適切でない。	黒の濃さ を調整してください。 →「 黒の濃さやコントラストを調整する 」 (22P)
	コントラスト の調整が適切でない。	コントラスト を調整してください。 →「 黒の濃さやコントラストを調整する 」 (22P)
液晶画面が暗い。	明るさ の調整が適切でない。	明るさ を調整してください。 →「 液晶画面の明るさを調整する 」 (23P)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。
映像の色が薄い。 または濃い。	色の濃さ または 色あい の調整が適切でない。	色の濃さ または 色あい を調整してください。 →「 色の濃さや色あいを調整する 」 (22P)
映像の色あいがおかしい。		
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—

テレビ

症 状	原 因	処 理
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 →「 基本的なテレビの見かた 」(16P)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 →「 基本的なテレビの見かた 」(16P)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りがよくなり、雑音も少なくなります。
	アンテナ線と他のケーブルを束ねたり、重ねたりしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけ離してください。 →『取付説明書』
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →「 基本的なテレビの見かた 」(16P)

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を保持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お願い

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、TVモニターと組み合わせているHDDナビゲーションサーバー本体の両方をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

仕様

TV (共通部)

使用電源 : DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 2.0 A

TVモニター

画面サイズ : 8インチワイド
(有効表示面積 :
99.5 × 175.7mm)
画素数 : 336,960 画素
(234 × 1,440)
方式 : TFT アクティブマト
リクス方式、透過型
エッジライト : 冷陰極コノ字管
使用温度範囲 : - 10 ~ + 50
保存温度範囲 : - 20 ~ + 80
内蔵スピーカー : φ 36 mm

TVチューナー

受信チャンネル : VHF 1 ~ 12 ch、
UHF 13 ~ 62 ch
実用感度 : 6 dBμ(75 Ω、モノ
ラル音声)
映像S/N : 40 dB以上 (59 dBμ
入力、白 100 %)
映像雑音制限感度 : 40 dBμ
クロストーク : 主 → 副 35 dB以上、
副 → 主 40 dB以上
S/N : 60 dB (IHF-A ネット
ワーク)

ステレオセパレーション : 30 dB (1 kHz)

外部映像入力レベル : 1 Vp-p/75Ω
外部音声最大入力レベル : 1.0 V/22 kΩ
映像出力インピーダンス : 1 Vp-p/75Ω
外部音声最大出力レベル : 1.0 V/1 kΩ

アンテナ入力 : 4 ch ダイバシティ
FMトランスミッター使用周波数 : 76.4 ~ 78.4 MHz
(0.1 MHz間隔で可変)

TVアンテナ

出力端子 : φ3.5 ミニプラグ × 4
アンテナケーブル長 : 7.0 m

外形寸法

TVモニター :

218 (W) × 136 (H) × 29 (D) mm

TVチューナー :

179 (W) × 32 (H) × 150 (D) mm

TVアンテナ :

30 (W) × 28 (H) × 192 (D) mm
(収納時、アンテナベース含まず)

リモコン :

36 (W) × 9 (H) × 92 (D) mm

質量

TVモニター : 538 g
TVチューナー : 928 g (コード含む)
TVアンテナ : 260 g (コード含む、
片側)
リモコン : 20 g (電池含む)

付属品

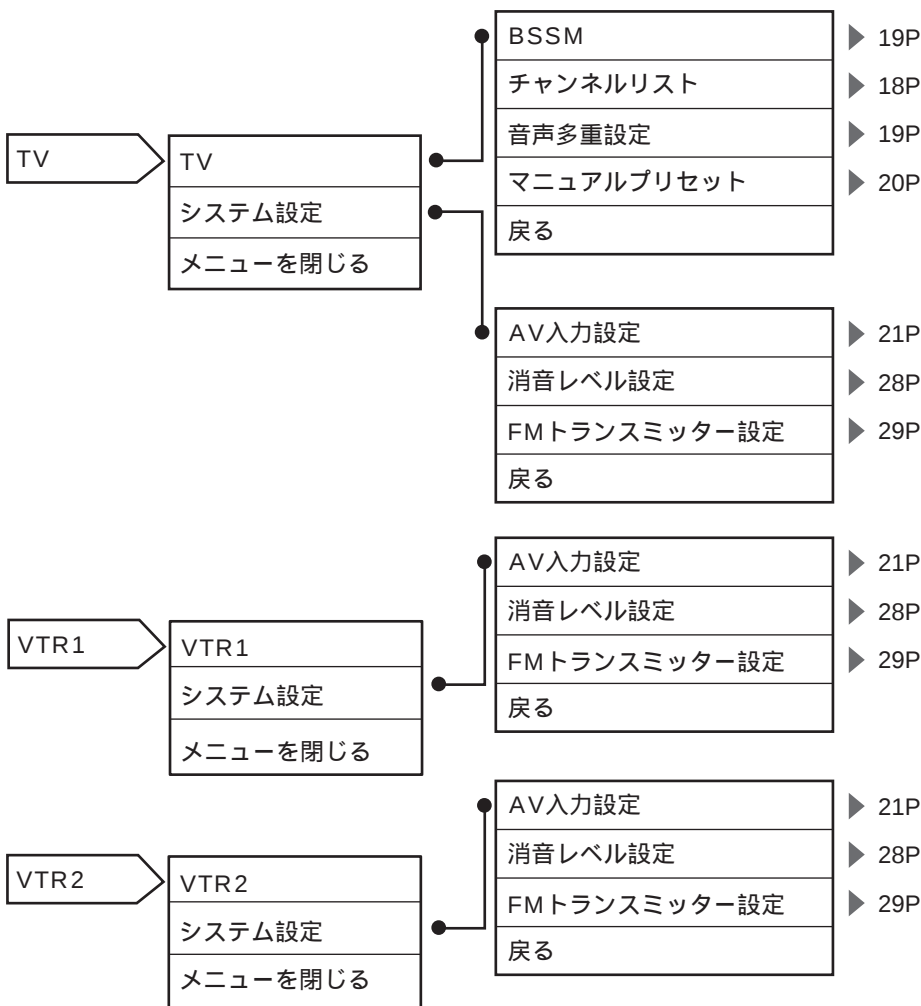
コード類 : 1式
取付キット : 1式
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書発行兼お客様 : 1
登録カード
ご相談窓口・修理窓口 : 1
のご案内

- 仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本機は日本国内専用です。外国では使用できません。

索引

メニュー索引

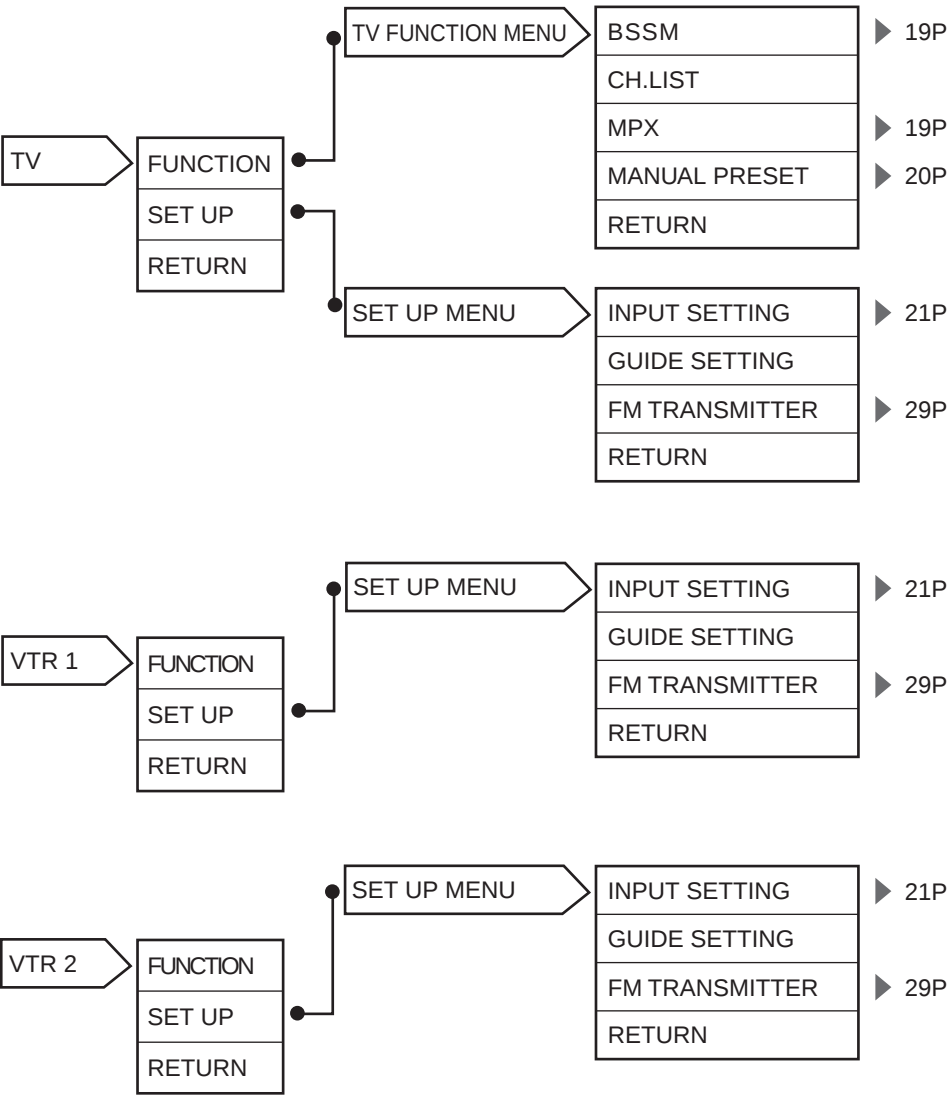
オーディオメニューの一覧 (NAVI)



メニューを開くことはできません。

➡ ミュージックサーバー、CD/DVDのメニュー画面については、ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。

オーディオメニューの一覧 **TV**



メニューを開くことはできません。



お客様ご相談窓口（全国共通フリーフォン）

カスタマーサポートセンター

- カーオーディオ/カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 **0070-800-8181-11**

- カタログのご請求窓口

 **0070-800-8181-33**

- < ご注意 > ● PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
- 修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2001

< KFJZF/01C00000 > < CRA3179-A >